

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	郡上市立八幡中学校		
実 施 期 間	平成26年10月15日(水)～11月21日(金)		
実 施 概 要	①地域の事業所における勤労体験学習(2年) ②地域の活性化や将来像について意見交換・取材(3年) ③共に生きる町づくりについての講演会(1年) ④親子芸術鑑賞および合唱祭(全校) ⑤郡上市青少年郷土芸能フェスティバル運営ボランティア参加(希望者)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約 250 人	計 約 350 人
	地 域 関 係 者	約 100 人 <small>※校外活動で訪ねた方を含む</small>	
実 施 状 況	①地域の事業所における勤労体験学習 総合的な学習の時間「凌霜の時間」(以降「凌霜」)において、2年生は「ふるさと郡上で学ぶ<勤労>」をテーマに、地域の50の事業所に85名の生徒が分散し、10月15日から3日間にわたる勤労体験学習を行い、地域の方々から働くことの意義や大変さ等について学んだ。 ②地域の活性化や将来像について意見交換・取材 「凌霜」において、3年生は「ふるさと郡上の将来を考える<参画>」をテーマに、グループごとに内容を決め「町おこし企画書」の作成を進めており、10月22日に、5名の地域の方を招き企画書についての助言を頂き、10月31日には、79名の生徒が18のグループに分かれ、校外に出て内容に関わる地域の方や関係機関等を訪ねたり、地域の方々に聞き取り調査を行ったりして、企画についての取材や意見交換を行った。 ③共に生きる町づくりについての講演会 「凌霜」において、1年生は「ふるさと郡上に目を向け<福祉・共生>」をテーマに、誰もが暮らしやすい町づくりについて自分たちにできることはなにか考える学習を進めており、10月24日には市社会福祉協議会の方を招き、84名の生徒が地域の福祉の取組について話を聞き学んだ。 ④親子芸術鑑賞および合唱祭 11月21日、午前中は親子でプロのアカペラコーラスグループの合唱を鑑賞し、午後、年間を通して取り組んでいる「八中文化」の一つの合唱の発表を行い、保護者や地域の方々に来ていただき、最後には一緒に合唱した。 ⑤郡上市青少年郷土芸能フェスティバル運営ボランティア参加(希望者) 11月9日、市教委社会教育課主催の標記の催しについて、全校生徒250名中参加可能な63名の生徒が自主的に運営ボランティアとして参加し、受付・出演団体係・接客・司会進行・ステージ係、観客誘導、記録係の各役割を分担し、当日準備から終日活動した。		
成 果 及 び 課 題	○地域の方との打合せや趣旨説明などを各学年部で計画的に行ったことで、地域の方が目的をよく理解してくださり大変協力的で、意図した学習の成果を得ることができた。 ○「合唱祭」には、保護者以外にも地域の方が年々多く来て頂けるようになってきた。 ●「凌霜」の学習のまとめや成果発表の在り方の一つとして、地域の方々への発表・発信など一層工夫する必要がある。 <地域での職場体験学習受け入れ先の方の声> ・こういう機会を通して、地域に目を向け、将来郡上で活躍していただければうれしいです。 <合唱祭における保護者・地域の方の声> ・生徒たちの姿から、仲間と心を合わせて取り組む良い経験になっていると感じました。		